

## 八万南小学校で河川環境学習を開催しました。

八万南小学校4年生の児童を対象に、屋外での河川環境学習を実施しました。パックテストや透視度計を使って園瀬川の水の水質検査をしたり、川の中に入って底生生物や魚を捕まえたりしました。

### 【実施概要】

日 時：平成23年7月14日（木）8：20～11：30

場 所：園瀬川（文化の森橋周辺）

参加者：八万南小学校 4年生 4クラス 119名

県土整備部 河川整備課 2名

東部県土整備局（徳島） 4名

フジタ建設コンサルタント 10名

内 容：1 園瀬川の水質調査：pH・COD測定、透視度測定

2 園瀬川の水生生物の観察・指標生物による水質判定

感 想：園瀬川にいるたくさんの水生昆虫を採集することができて楽しかったのと、川にすんでいる生き物で水質判定ができるということを教えてもらい、園瀬川がきれいな川であるということが分かってうれしかったです。

透視度計で、上流の水は一番底で標識板のマークが見えて、文化の森橋の下の水との違いがよくわかりました。

園瀬川の水をよごさないよう大切にしていきたいと思いました。

### 【活動状況】

○あいさつと活動の説明



○底生生物による水質判定および魚釣り体験

最初に、川に入る際の注意事項や底生生物、魚の捕り方等についての説明を受けました。



川に入ると、児童達は思い思いの場所で底生生物や魚釣りを楽しみました。



捕まえた底生生物や魚の名前を調べて、水質判定をしました。きれいな水に生息するヒラタカゲロウ類や、ややきれいな水に生息するカワニナ、コオニヤンマ、ヒラタドロムシ等多くの種類が捕れたことから、園瀬川の水は判定では、きれい、もしくは、ややきれいな水であるということがわかりました。



中には、こんな大きなクロベンケイガニも捕れました。



## ○水質調査

園瀬川上流と園瀬川文化の森橋下の水質を比較しました。

水質を判定するCODとpHについての話を聞いた後、パックテストの仕方の説明を受けました。



各班の中で担当を決めて協力しながら測定しました。

(水を汲む、気温・水温を計る、パックテストをする、透視度計で計測する)

CODの測定は各班ばらつきが見られましたが、pHの測定は橋の下で7と8が多く、上流では9.5が多い結果となりました。



透視度計での計測では、園瀬川上流の水は一番底でも測定でき125～130cmでしたが、園瀬川文化の森橋下では50～80cmになりました。

測定したものを記録紙に記入し、各班で発表しました。

